



これからの日本の農業の形は

櫻井 肇 議員
(無会派)

FTAについての市長の見解は 国の責任で交渉していくもの

解を伺う。

A (市長) 花巻農業協同組合および市農業委員会との担当者レベルで協議し策定を進めている。内容は、農地をフルに使うこと、再生産可能な所得補償の実施を組合せ、それに伴う予算も含め提言する。FTAは、再生産

C 東和小学校の課題
A (教育長) 下校バスを待つ児童の通ごし方。スクールバ

可能な日本の農業の形の下に議論されていくべきと考える。国の責任で交渉すべきもので、新日本農業ビジョンへの組み入れは考えていない。

性と公共交通計画の整合性および「統合ギャップ」についての見解を伺う。

A (教育長) バスを待つ間は、校舎内で読書など放課後の時間をのびのびと過ごさせたい。また、スクールバス運行計画と公共交通計画の整合性を図り、通学に支障がないよう調整する。統合ギャップについては、統合す

山本 純雄 議員
(花巻クラブ)

Q 合併後3年間の不均一な負担も今年度から事業用の水道料金以外統一された。その料金も來化された。

A (商工観光部長) お祭

類似イベントの補助率等統一を 期限定めよりよい実施向け議論

年度から統一される。旧市町では、お祭りや花火大会等類似のイベントが行われている。しかしその事業は市からの補助金がなければできないのが現状である。この補助金の補助率等も統一するべきではないか。

A (商工観光部長) お祭

実行委員会に呼びかけ会議を開き、よりよい実施に向け議論をしていく。

C インターネット公売

りや花火大会は、市を代表するイベントと考え、各実行委員会の構成員として参加し、各団体で決定される負担金等を支援している。お祭りには基準を設け支援している実績と今後の取り組みを伺う。

A (総務部長) 市税滞納で差し押さえた動産を昨年度から公売している。6回出品し3点が落札している。市有地は、売却実績に至っていない。



いじりや夢まつりは、補助金や寄付金のほか石鳥谷地域の皆さんの協力金で実施されています(8/15)

藤原 米光 議員
(明和会)

Q 台風や地震等による災害発生時の対応は、初期段階での地域の防災活動が重要であり、自主防

組織が市内全域に結成されることが望まれるが、市内の状況、結成について、また、機能別団員を含めた消防団の充足率について伺う。

A (市長・消防長) 現在の自主防災組織は、26組など全地区での結成に向け取り組む。消防団員の充足率は、機能別団員を含め92・2%で、不足の地域もあることから災害時には複数部隊の出動態勢を取っている。今後も

17・6%となっている。今年度の目標は50組織結成で、今後も説明を行うなど全地区での結成に向けて取り組む。消防団員の充足率は、機能別団員を含め92・2%で、不足の地域もあることから災害時には複数部隊の出動態勢を取っている。今後も

市民に周知するとともに地域住民を対象とした見学会も開催していく。



松園町四区自主防災組織が実施した防災訓練(6/9)

防災組織の状況と取り組みは 説明を行い全域での結成に努力

災組織が市内全域に結成されることが望まれるが、市内の状況、結成について、また、機能別団員を含めた消防団の充足率について伺う。

Q 石鳥谷中学校の校舎が近いうちに完成し、年内に使用開始すると聞いているが、市民の皆さんに公表してはどうか。

A (教育部長) 新校舎の使用開始は、来年4月からであったが、完成が早まり、本年度3学期からとした。今後、広報等で

保全と景観保護の観点から民有林の買収や「我が家家の花壇」として道路沿い方については基本的に継承踏襲していくが、交

流が全市的になるよう見直しを図る必要がある。

直しを図る必要がある。

可能なこと、グラウンドゴルフ場として整備することなど、地域住民が協議すべきではないか。

A (農林水産部長・建設部長) 民有林は、保安林指標で対応可能なことは支援するとのことで、今後も協定を結んで行うは可能なこと、グラウンドゴルフ場は維持管理の中でも対応可能なことは支援するとのことで、今後も協定を結んで行うは可能なこと、グラウンドゴルフ場として整備することなど、地域住民が協議すべきではないか。

また、県から花壇は地元と協定を結んで行うは可能なこと、グラウンドゴルフ場は維持管理の中でも対応可能なことは支援するとのことで、今後も協定を結んで行うは可能なこと、グラウンドゴルフ場として整備することなど、地域住民が協議すべきではないか。

直しを図る必要がある。